教科名	地歴	科目	地理探究	単位	４単位

１．教科書および副教材・参考書

新詳地理Ｂ　（帝国書院）

新詳高等地図（帝国書院）

新詳地理資料COMPLETE2022（帝国書院）

2023年度版　地理統計Plus（帝国書院）

２．授業の目標および内容

地理という科目は最も生徒自身の身近にある親しみやすい科目であり「楽しい科目」である。「暗記するだけの科目」ではない。授業を通して地理という楽しい科目にふれながら、地理的な視野を獲得していきたい。また、近年の国際社会の重要な課題ともなっている「持続可能な社会（SDGs）」についても環境問題など生徒の身近な事象を取り上げ、解決策を探求する実践例を取りあげたい。そこで１年間を通しての以下の目標を定めていきたい。

① 地理的事象を、系統（単元別）地理的に、あるいは地誌的に考察し、地理的な見方や考え方を身に着け、実社会でも活用できる知識を習得する。

② 現在、世界は新型コロナウイルス感染拡大や環境問題などの様々な未曽有の危機に直面している。このような事態の解決のためにも世界的な視野に立ち地理的な視野を獲得する。

３．試験について

	１学期		２学期		３学期
定期試験	一次　５月	二次　７月	一次　10 月	二次　12 月	期末　３月
学力試験			第１回　９月		第２回　２月

内容・難易度について

① 定期試験：100 点満点で出題

指定した範囲から、学習した内容についての確認問題。

② 学力試験：100点満点で出題

学習済みの範囲から、日大基礎学力到達度テストと同等の難易度で出題。

４．課題・補習について

適宜、必要に応じて行います。

５．評価の視点

定期テストの点数を基本に、平常点（提出物、学力テストなど）を含め、総合的に評価点を算出します。

授業計画

学期	単　　元	学　習　内　容	備　考
1	地図情報と地図 世界を結ぶ交通・通信 現代世界の貿易と経済圏 生活舞台としての自然環境 　地形環境 　気候区分	現代世界の地図 世界観の変化と地図 世界の交通網 　各交通機関の特徴について 私たちの生活を支える貿易について 　国際分業、地域間格差 地球の凸凹 大地形 　安定陸塊・新期・古期造山帯 小地形 　堆積平野 　沖積平野 　地形図を使って、実地形を想像 ケッペンによる気候区分 　気候要素と気候因子 　世界各地の気候の違い	まずは，地図の見え方から世界の国や地域の関係性を大まかに理解することからはじめる。生徒自身の身近に「地理」があることを気づかせる。
2	農牧業地域の形成と変貌 水産業 食料問題 環境と開発 地球が抱える諸問題	農業の成立条件 世界の主要漁場 日本の漁場 世界の食料問題 世界の地域開発 環境問題	農牧業の違いを把握することで、人間生活の特色がわかり、地域の特性を理解することにつながる。
3	世界の人口 生活文化、民族・宗教	世界の人口問題 　発展途上国・先進国の人口問題 　日本の人口問題 世界の衣食住 　民族と宗教 　現代社会の国家 　民族・領土問題	